

2017年9月22日

生活協同組合コープみらい  
いばらきコープ生活協同組合  
とちぎコープ生活協同組合  
生活協同組合コープぐんま  
生活協同組合コープながの  
生活協同組合コープにいがた  
コープデリ生活協同組合連合会

組合員・役職員が北海道の農産地を訪問し生産者と交流  
9月27～28日の2日間、JAふらの、JAびえいで  
「産地視察・交流《産地の想いをつなぐ》」を実施

コープデリ連合会（本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、9月27日（水）、28日（木）の2日間、コープデリグループの組合員と役職員による「産地視察・交流《産地の想いをつなぐ》」を、JAふらの（名称：ふらの農業協同組合、本所：北海道富良野市）とJAびえい（名称：美瑛町農業協同組合、本店：北海道上川郡）で実施します。JAびえいの産地視察・交流は今回が初となります。

産地視察・交流は、今年で9年目を迎え、“おいしく食べて、地域から日本の農業を応援すること”を目的として、食品がどのように生産・消費されているのか、体験や見学を通して理解するプログラムです。

JAふらののは、コープデリ連合会の産直産地として、かぼちゃ、たまねぎなどの産直商品を、JAびえいはアスパラガスなどの産直商品を取り扱っております。

両地域は、昨年8月の台風等に伴う大雨で甚大な損害が生じ、当連合会では緊急支援募金を実施して、復旧を支援してまいりました。今回の産地視察・交流ではその後の復旧・復興状況を知ることにも目的としております。

参加者は、9月27日（水）にJAふらのでたまねぎの圃場見学や収穫体験を、9月28日（木）にJAびえいでトマトの選果場視察やじゃがいもの収穫体験を行い、生産者の栽培におけるこだわりなどを学びます。また、JAふらのでは生産者との交流会を開き、おいしい農作物を作るために気を付けていることや現在抱えている問題などについて話を交え、理解を深めます。

当連合会では組合員と役職員の産地視察、生産者との交流を通して、今後とも全国の産地とより強固なパートナーシップの確立を目指してまいります。

産地視察・交流およびJAふらの、JAびえいの概要につきましては、次頁をご参照ください。

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

「生活協同組合連合会コープネット事業連合」は、「コープデリ生活協同組合連合会」に名称を変更しました

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13  
 【理 事 長】 土屋 敏夫（つちや としお）  
 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、  
 コープながの、コープにいがた、コープクルコ  
 【総事業高】 5,346億円（会員生協事業高計） ※2016年度  
 【組合員数】 471万人（会員生協組合員計） ※2017年8月20日現在  
 【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>

## － JA ぶらの、JA びえい「産地視察・交流〈産地の想いをつなぐ〉」概要 －

### ●日程および、主な視察・交流内容

日付	時間	内容
9月27日(水)	14:30~16:30	<JA ぶらの> たまねぎ圃場見学・収穫体験
	16:45~17:15	「フラノマルシェ」(商業施設) 見学
	18:00~20:00	生産者との交流会
9月28日(木)	9:35~10:00	<JA びえい> トマト選果場視察
	10:15~10:45	「美瑛選果」(直売所) 視察
	11:00~12:15	じゃがいも収穫体験

※予定は天候などで変わる場合があります。

### ●参加者

コープデリ連合会 小林新治副理事長、コープデリ会員生協組合員(理事ほか)、店舗職員、宅配職員など12名

### ●主要産地視察・交流の目的

- (1) 組合員・生産者とともに「生産」「消費」について知識と理解をひろげ、生産者・加工者・コープ・組合員が一体となって、「産直」の取り組みを推進します。
- (2) フードチェーン(生産から消費まで)をより確固たるものにするために、組合員の産地視察、生産者との交流など、信頼の輪を広げる取り組みを進めます。
- (3) 理事長を団長とし会員生協組合員理事、会員生協職員を中心とした全国主要産地視察・交流に取り組みます。
- (4) 参加者は、視察・交流を通して産地の特徴や生活者の苦労などについて理解を深め、そのことをより多くの組合員・職員にひろげます。あわせて「ハピ・デリ!」紙面、ホームページ等で産地視察・交流内容を紹介します。
- (5) 産地視察・交流を含め、多面的かつ総合的な取り組みを通して、全国の主要産地との「より強固なパートナーシップ」の確立を目指します。

#### ～JA ぶらの(ぶらの農業協同組合)概要～

JA ぶらのは北海道上川管内の南部に位置する上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村の1市3町1村を区域とする22,100haの農用地に、恵まれた自然環境と土地条件を生かして、たまねぎ、にんじん、馬鈴薯、水稻、麦、てんさい、畜産、メロン、すいか、トマト等多岐にわたる農畜産物を産出する一大食料生産基地です。また、圏域最大の組織の使命として貯金や共済、給油所や自動車事業等、農家組合員のみならず、地域住民になくてはならない生活の基盤として、その役割を担っています。

#### ～JA びえい(美瑛町農業協同組合)概要～

JA びえいがある「北海道美瑛町」は農業と観光の町として知られ、北海道のほぼ中央に位置しています。十勝岳連峰のふもとに広がる大地には峰々から石狩川の支流が清く流れ、また昼夜の寒暖差が大きい典型的な内陸性気候とあいまって、農業生産にはとても恵まれた環境です。農畜産物の販売体制の強化、積極的な産地PR活動を展開しており、2007年には「美瑛選果」が、サービス産業生産性協議会が実施する「ハイ・サービス日本300選」の受賞企業として選定されています。